

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

グローバル人材育成を核とした夕張の教育環境魅力化プロジェクト～僕らが日本の先山になる～

2 地域再生計画の作成主体の名称

夕張市

3 地域再生計画の区域

夕張市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

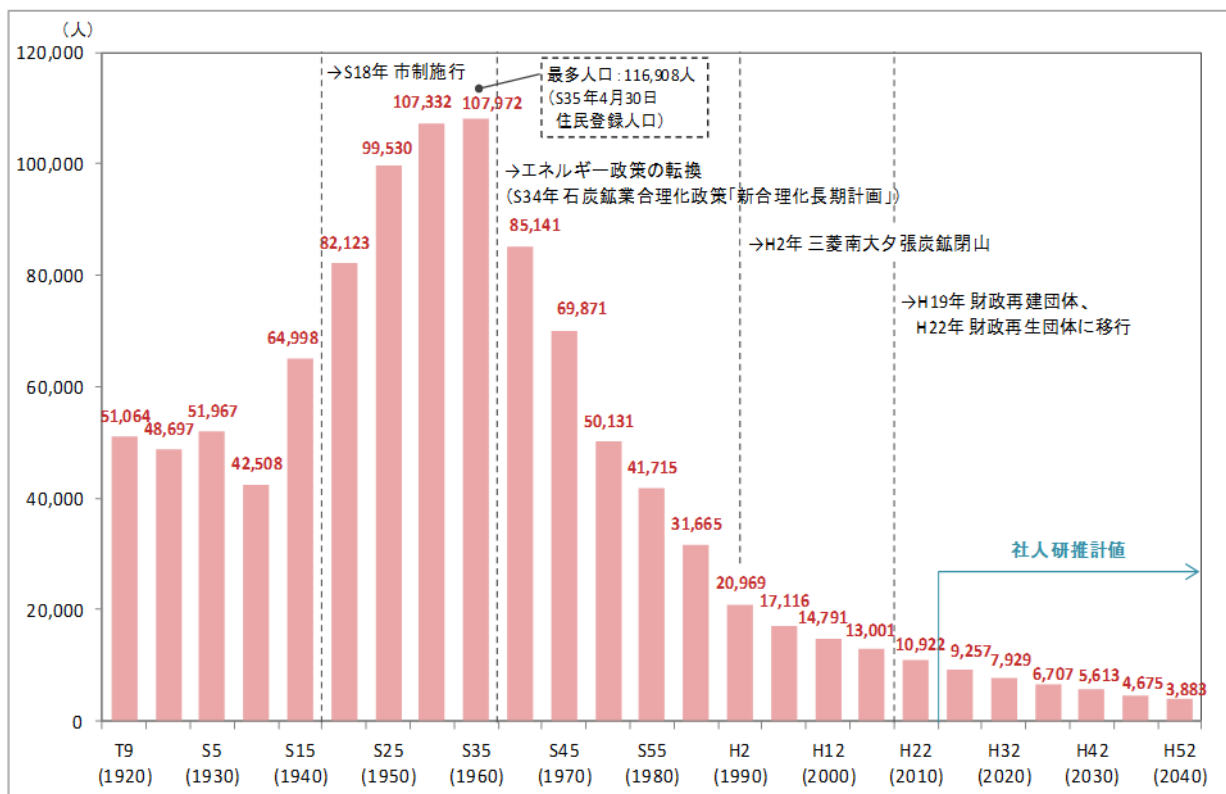
夕張市の人口は、昭和35年をピークとして減少を続け、平成29年7月末には8,538人と急激な人口減少が進んでおり、平成52年には3,883人まで減少すると見込まれている（図1）

比例する形で児童・生徒数が一貫して減少しており、市内に1校しかない中学校から市内唯一の高等学校である北海道立夕張高校（以下「夕張高校」という。）への進学率が低下している（図2）

これまで夕張市は、平成24年12月に夕張市内の生徒減少を踏まえ、夕張高校の今後のあり方について、より良い方向性を考えるため、夕張市高校対策委員会を発足し、検討会議や地域キャンパス校の視察（厚真高校、平取高校）などにより「間口」や「存続」を中心とした夕張高校の現状について様々な角度からの実態把握に努めてきた。

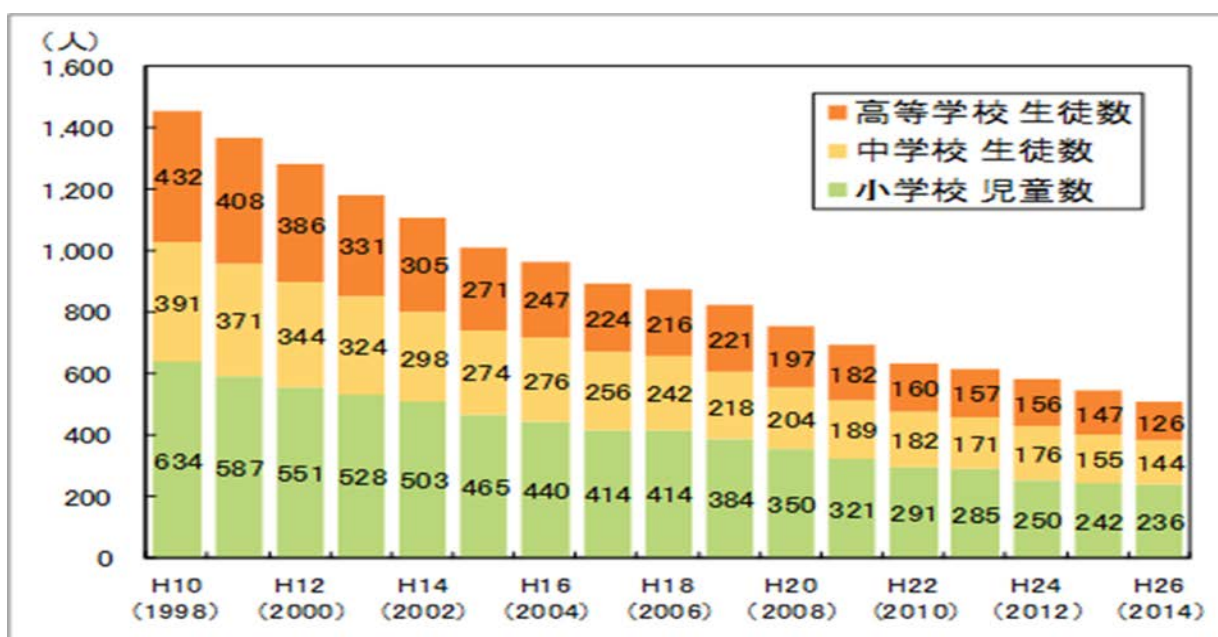
そのなか、平成27年度入学者については2間口（65人）を維持するだけの生徒が市内にいるにも関わらず1間口（39人）となった。また、平成28年度の夕張中学校からの進学者は19名と、その進学率は50%を下回る結果となっており、このままでは地元から1校しかない高校がなくなることが危惧されている。

【図1 総人口の推移と将来人口推計】



(出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計(平成25年3月推計)」)

【図2 市内生徒数の推移】



(資料：文部科学省「学校基本調査」)

4-2 地域の課題

夕張市の現状を踏まえると、これまで以上に進学率が下がり、夕張高校の存続問題にまで発展すると不安感が広がり、教育環境の充実を求める子育て世帯が小・中学校から他市町村での子育てを希望し、市外流出が一層加速する恐れがある。

高校の魅力化は待ったなしの現状であると再認識し夕張市教育大綱に基づく「新たな教育政策」を進めながら、生まれてから高校卒業までの教育を地域で考えることが不可欠である。

4-3 目標

本計画は、郷土愛教育の推進（スキー授業、石炭産業の歴史など）、公設塾などによる確かな学力の育成、ICT環境の整備によるグローバル人材の育成、地域で人を育てるキャリア教育の推進などを踏まえつつ、夕張高校との連携を図り、少人数であることを「出来ない理由」とするのではなく、少人数だからこそできる1人1人に目が行き届く細やかな指導、個性に応じた指導による確かな学力の向上、また国のエネルギー政策の転換による閉山、それに伴う形で市の財政破綻、人口減少による少子高齢化、老朽化が著しい公共施設の維持管理など今後、日本全国が直面する地域課題を教育資源とする新しい夕張の教育を推進していく。この取り組みは、夕張高校だけではなく「夕張市教育大綱」に基づき、0歳から18歳までの教育環境の充実と連動し、関わる者、全てが変化を「実感」できる取り組みとすることを目標とする。

【数値目標】

事業	夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）			年月	
	KPI	市内からの進学者率	大学進学者数		市内就職者数
申請時		55%	5名	4名	H29.9
1年目		55%	5名	4名	H30.3
2年目		60%	6名	5名	H31.3
3年目		70%	7名	6名	H32.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体概要

夕張市の教育環境の魅力化のため、小中校一貫した英会話教育によりグローバル人材育成を核とした事業に取り組み、夕張高校においてさらなるチャレンジにつなげ、地域の活性化を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：グローバル人材育成を核とした夕張の教育環境魅力化プロジェクト～僕らが日本の先山になる～

(2) 事業区分：人材の育成・確保

(3) 事業の目的・内容

(目的)

夕張市教育大綱の基本理念の柱である「郷土に誇りを持ち、共に支え合い、未来に向かって夢や希望に満ちた子ども達を育む」を実践、実現するため、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、PTA、行政が連携し、地域全体で「魅力ある高校づくり」に取り組むことにより、地域の魅力ある教育を施すことに繋げ、人口流出を防ぐことを目的とする。

(事業の内容)

ア 夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）

平成28年度より、夕張高校の存続に向けた取り組みとして、資格取得、進学模試、進路指導、課外活動などに各種補助金を創設し、生徒はその活躍の場を広げている。

平成29年度は、企画委員会を設置して実施体制を構築し、日本における課題先進地である夕張の課題（人口減少、少子高齢化、財政難）に立ち向かい、日本の未来や次の社会のカタチを導き出すプログラムづくりを行う。またグローバルな視点を養うため、平成30年度から実施する海外留学の事前視察や、マンツーマンオンライン英会話システム（Webカメラ・ヘッドセット）を設置して英会話の習得を目指す。

上記に加えて、チャレンジする生徒を応援すべく部活動支援の強化、パンフレット等による魅力の発信、高校生の可能性を引き出す公設塾の設置、市外からの生徒受け入れ体制構築にも着手する。

イ 小学校教材教具整備

タブレット端末導入に関わるネットワーク環境を整備し、ICT教育の充実のため次期学習指導要領における規定により情報活用能力の育成を図る。

ウ グローバル人材育成事業（小学生）

ゆうばり小学校のパソコン教室にマンツーマンオンライン英会話システム（Webカメラ・ヘッドセット）を設置し、日常から外国人講師による本物の英会話を経験することにより、英語教育の充実とグローバル人材の育成を図る。また、小学校での英語教科化の対応に備える。

エ グローバル人材育成事業（中学生）

夕張中学校のパソコン教室にマンツーマンオンライン英会話システム（Webカメラ・ヘッドセット）を設置し、日常から外国人講師による本物の英会話を経験することにより、英語教育の充実とグローバル人材の育成を図る。

→ 各年度の事業の内容

夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）

- 初年度）部活動強化費の増額、学校紹介パンフレット作成、海外留学事前視察、マンツーマンオンライン英会話システム導入
- 2年目 夕張高校入学支度金、海外留学、自主研修事業、マンツーマンオンライン英会話
- 3年目 夕張高校入学支度金、海外留学、自主研修事業、マンツーマンオンライン英会話

小学校教材教具整備

- 初年度）タブレット端末導入に関わるネットワーク環境整備

グローバル人材育成事業（小学生）

- 初年度）マンツーマンオンライン英会話システム導入
- 2年目 マンツーマンオンライン英会話継続
- 3年目 マンツーマンオンライン英会話継続

グローバル人材育成事業（中学生）

- 初年度）マンツーマンオンライン英会話システム導入
- 2年目 マンツーマンオンライン英会話継続
- 3年目 マンツーマンオンライン英会話継続

（４） 地方版総合戦略における位置付け

夕張市地方版総合戦略では、地域に誇りを持ち、地域の未来を語ること

のできる人材の育成を、幼稚園・保育園から高校まで一貫して実施することを念頭に「夕張の未来を創るプロジェクト」を戦略の柱としている。

これまで主体的な取り組みが出来なかった教育環境の充実を幼少期から積み上げ、高校魅力化を軸に整備されつつあるチャレンジできる環境により、夕張高校への進学者率（H26：55%→H31：70%）を引き上げることとしており、本事業はその目標達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）			年月
	KPI	市内からの進学者率	大学進学者数	
申請時	55%	5名	4名	H29.9
1年目	55%	5名	4名	H30.3
2年目	60%	6名	5名	H31.3
3年目	70%	7名	6名	H32.3

(6) 事業費

夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計		7,633	8,074	8,196
区分	役務費	58	74	74	206
	委託料	327	1,400	2,022	3,749
	使用料及び賃借料	100	100	100	300
	備品購入費	5,648	0	0	5,648
	負担金補助及び交付金	1,500	6,500	6,000	14,000

小学校教材教具整備	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計		7,000	0	0
区分	備品購入費	7,000	0	0	7,000

グローバル人材育成事業（小学生）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計		992	1,182	1,182
区分	委託料	560	1,182	1,182	2,924

	備品購入費	432	0	0	432
--	-------	-----	---	---	-----

グローバル人材育成事業（中学生）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	1,008	3,111	3,266	7,385
区分	委託料	576	3,111	3,266	6,953
	備品購入費	432	0	0	432

(7) 寄附の見込額

夕張高校魅力化事業（バージョンアップ）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	7,633	8,074	8,196	23,903
	寄附額計	7,633	5,707	5,552	18,892
寄附法人	練成会	7,633	5,707	5,552	18,892

小学校教材教具整備	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	7,000	0	0	7,000
	寄附額計	367	0	0	367
寄附法人	練成会	367	0	0	367

グローバル人材育成事業（小学生）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	992	1,182	1,182	3,356
	寄附額計	992	1,182	1,182	3,356
寄附法人	練成会	992	1,182	1,182	3,356

グローバル人材育成事業（中学生）	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	1,008	3,111	3,266	7,385
	寄附額計	1,008	3,111	3,266	7,385
寄附法人	練成会	1,008	3,111	3,266	7,385

(8) 事業の評価の手法（P D C Aサイクル）

（評価の手法）

本市の総合戦略策定委員で組織する総合戦略検証委員会（金融、産業など）により、事業の結果を検証し、改善点や問題点を明らかにして、次年度事業の改良へ繋げる。

(評価の時期・内容)

年度毎の結果について、翌年6月に外部有識者（総合戦略検証委員会）による検証を行い、以降事業の取り組み方針を決定する。

(公表の方法)

目標の達成状況は事業の最終年度に検証のうえ、市のホームページで公表する。

(9) 事業期間 平成29年9月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく事業

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

(1) 夕張高校魅力化プロジェクト

事業概要：夕張高校の入学者数は、年々減少傾向にある。今後も生徒数を確保し子どもたちが希望を持てる高校にするため、独自に高校魅力化のため、漢検、英検、珠算、文書事務などの資格取得や都立八丈高校への短期留学、地域高齢者の除雪ボランティアなどの課外活動について助成を行う。

実施主体：夕張市

事業期間：平成28年度から

(2) 高校魅力化アドバイザー活用

事業概要：夕張の課題を活用した教育プログラムづくりでは、2020年に予定されている大学入試改革に向けた対応が必要となるなど、本事業では高度な知識と経験が必要であるため、外部アドバイザーを活用する。企画委員会にも入りアドバイスを受ける。

実施主体：夕張市

事業期間：平成29年度から

(3) 市立未来塾（仮称）設置

事業概要：市が設置する未来塾では、学力向上の支援だけではなく、

生徒たちのチャレンジモアスピリットを引き出し、自分の道を自ら切り開く力を育成する。様々な分野で偉業を達成してきた社会の先輩を登録し、高校生が学びたい授業を企画・実施する「奇跡の授業」も実施予定。

実施主体：夕張市

事業期間：平成29年度から

(4) 外部受入体制の構築

事業概要：夕張市の出生数が減少しているなか、生徒数を確保し地域の高校を存続させていくためには、市外からの生徒受け入れが必須である。生徒が安心して生活できる環境を整え、夕張高校で学びたいという強い目的意識を持った生徒を受け入れる。

実施主体：夕張市

事業期間：平成29年度から

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

本市の総合戦略策定委員で組織する総合戦略検証委員会（金融、産業など）により、事業の結果を検証し、改善点や問題点を明らかにして、次年度事業の改良へ繋げる。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

年度毎の結果について、翌年6月に外部有識者（総合戦略検証委員会）による検証を行い、以降事業の取り組み方針を決定する。目標の達成状況に係る評価については、事業の終了年度に外部有識者による検証を行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

目標の達成状況は事業の最終年度に検証のうえ、市のホームページで公表する。